

熊本県感染症情報（第32週：8/4～8/10）

水害時の感染症対策について

- 大雨により家屋等が浸水被害に遭った場合、細菌やカビが繁殖しやすくなり、感染症の発生及び感染拡大のリスクが高まります。感染症予防には、清掃と乾燥が最も重要です。清掃時は、換気を行い、汚泥を十分取り除き、しっかり乾燥させ、必要に応じて消毒を行いましょう。
- また、傷口から細菌が入り込んだり、土ほこりを吸い込むことにより、感染症にかかる可能性があります。清掃作業をする際は、土ほこりが口や目に入ることを防ぐためゴーグルやマスクを着用し、ケガを防ぐため厚手の手袋や底の厚い靴を着用しましょう。

【参考】

令和7年8月10日からの大雨に係る浸水家屋や事業所の清掃、消毒及び感染症予防対策について
(<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/243420.html>)



新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

- 今週（第32週）の報告数は776件（一定点当たり10.78）で、前週の約1.12倍となり、令和7年（2025年）で最も多い報告数となりました。また、全国平均よりも高い水準で推移しており、注意が必要です。
- 高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化のリスクが高まるため、特に注意が必要です。「手洗いや手指の消毒」「マスク着用を含む咳エチケット」「定期的な換気」等の基本的な感染対策を心がけ、感染を予防しましょう。

1 定点把握対象疾患

※県内154定点医療機関からの報告数：8/4～8/10

定点	No.	疾患名	今週	前週
急性呼吸器感染症	72	1 インフルエンザ	9	12
	2	2 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	↑ 776	690
	3	3 急性呼吸器感染症（ARI）	↑ 3,804	3,639
小児科	48	4 RSウイルス感染症	↑ 10	7
	5	5 咽頭結膜熱	6	13
	6	6 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 49	37
	7	7 感染性胃腸炎	↑ 260	226
	8	8 水痘	↑ 13	8
	9	9 手足口病	↑ 19	13
	10	10 伝染性紅斑（りんご病）	76	84

定点	No.	疾患名	今週	前週
小児科	48	11 突発性発しん	↑ 32	21
	12	12 ヘルパンギーナ	73	152
	13	13 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	1	3
眼科	8	14 急性出血性結膜炎	0	0
	15	15 流行性角結膜炎（はやり目）	6	10
基幹	15	16 細菌性髄膜炎	↑ 1	0
	17	17 無菌性髄膜炎	↑ 1	0
	18	18 マイコプラズマ肺炎	↑ 29	24
	19	19 クラミジア肺炎	0	0
	20	20 感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0

※定点の右欄は、定点医療機関数。

【報告数の多い疾患】

※地区別：定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

	疾患名	今週	前週	地区別			年齢別		
				1	2	3			
①	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	↑ 776件	690件	有明	人吉	阿蘇	70-79歳	104件	13.4%
②	感染性胃腸炎	↑ 260件	226件	有明	宇城	菊池	1歳	60件	23.1%
③	伝染性紅斑	76件	84件	菊池	宇城	熊本	4歳	22件	28.9%

【定点把握対象疾患の推移(過去7週)】

報告期間	第25週	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週	第31週	第32週	第29週	第30週	第31週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	6/16～ 6/22	6/23～ 6/29	6/30～7/6	7/7～7/13	7/14～ 7/20	7/21～ 7/27	7/28～8/3	8/4～8/10	7/14～ 7/20	7/21～ 7/27	7/28～8/3
インフルエンザ	25	22	11	6	6	5	12	9	1,146	1,223	1,153
	0.34	0.30	0.15	0.08	0.08	0.07	0.17	0.13	0.30	0.32	0.30
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	92	137	208	274	400	565	690	776	12,069	15,924	21,365
	1.26	1.88	2.85	3.81	5.56	7.85	9.58	10.78	3.13	4.12	5.53
急性呼吸器感染症 (ARI)	3,227	3,256	3,455	3,417	3,534	3,299	3,639	3,804	207,629	185,656	202,888
	44.21	44.60	47.33	47.46	49.08	45.82	50.54	52.83	54.03	48.20	52.82
RSウイルス感染症	1	4	0	1	12	6	7	10	1,180	1,239	1,629
	0.02	0.08	0.00	0.02	0.25	0.13	0.15	0.21	0.50	0.53	0.69
咽頭結膜熱	20	33	22	19	15	11	13	6	1,306	1,061	1,041
	0.41	0.67	0.45	0.40	0.31	0.23	0.27	0.13	0.56	0.45	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	59	59	56	44	34	37	49	5,179	3,775	4,221
	1.20	1.20	1.20	1.17	0.92	0.71	0.77	1.02	2.20	1.60	1.79
感染性胃腸炎	300	324	284	294	248	181	226	260	12,454	9,880	11,236
	6.12	6.61	5.80	6.13	5.17	3.77	4.71	5.42	5.30	4.19	4.77
水 痘	5	29	9	13	13	17	8	13	799	799	722
	0.10	0.59	0.18	0.27	0.27	0.35	0.17	0.27	0.34	0.34	0.31
手足口病	16	21	37	24	25	15	13	19	1,395	1,380	1,474
	0.33	0.43	0.76	0.50	0.52	0.31	0.27	0.40	0.59	0.59	0.63
伝染性紅斑	54	57	51	42	45	77	84	76	4,881	4,423	4,583
	1.10	1.16	1.04	0.88	0.94	1.60	1.75	1.58	2.08	1.88	1.95
突発性発しん	22	28	33	38	36	30	21	32	816	785	795
	0.45	0.57	0.67	0.79	0.75	0.63	0.44	0.67	0.35	0.33	0.34
ヘルパンギーナ	92	159	209	194	240	144	152	73	4,401	3,852	4,517
	1.88	3.24	4.27	4.04	5.00	3.00	3.17	1.52	1.87	1.63	1.92
流行性耳下腺炎	3	4	3	2	3	1	3	1	131	125	104
	0.06	0.08	0.06	0.04	0.06	0.02	0.06	0.02	0.06	0.05	0.04
急性出血性結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	9	10	9
	0.00	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
流行性角結膜炎	12	15	10	17	13	17	10	6	616	580	630
	1.33	1.67	1.11	1.89	1.44	1.89	1.11	0.75	0.88	0.83	0.90
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1	8	4	12
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.02	0.01	0.02
無菌性髄膜炎	0	1	0	0	1	0	0	1	26	32	41
	0.00	0.07	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.07	0.05	0.07	0.09
マイコプラズマ肺炎	14	15	29	33	25	26	24	29	474	401	478
	0.93	1.00	1.93	2.20	1.67	1.73	1.60	1.93	0.99	0.83	0.99
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	1
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0	0	0	0	0	0	0	8	9	1
	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00

※ 上段: 患者数、下段: 定点一医療機関当たりの患者報告数

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】 【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

(※全国の流行状況の情報還元に時間差があるため、全国情報は1週間までの内容になります。)

伝染性紅斑	: 熊本市、菊池、宇城
ヘルパンギーナ	: 菊池、八代、宇城

2 全数把握対象疾患

	疾患名	今週	R7累計
2類感染症	結核	1	132
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5	45
4類感染症	E型肝炎	1	3
5類感染症	梅毒	4	120
	百日咳	21	794

※当該週以外の週で、報告遅れや取下げがあるため、R7累計報告数は増減します。
報告があった疾患のみ記載しています。

3 病原体検査情報

※県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。
季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

○インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) ※2024/25シーズン(R6.9/2～)の累計

(今シーズン累計)	A型			B型
	季節性 H1pdm(AH1pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	3件	0件	1件	0件

○呼吸器疾患病原体検出状況 ※第1週(R6.12/30～)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
21件 (11件)	3件 (0件)	8件 (6件)	6件 (0件)	4件 (0件)	2件 (0件)
アデノウイルス	その他				
11件 (0件)	6件 (0件)				

(※カッコ内は昨シーズン累計)

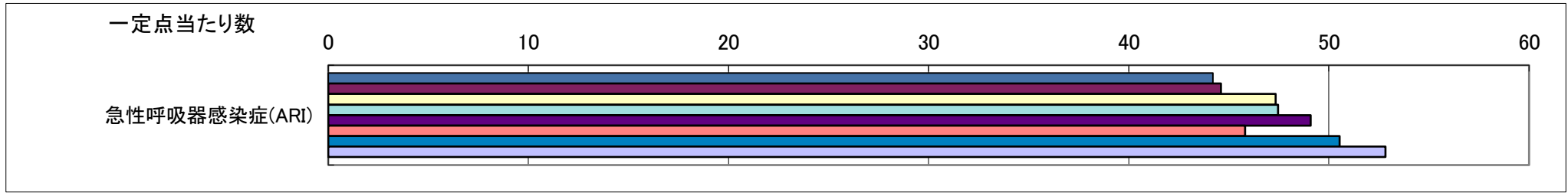
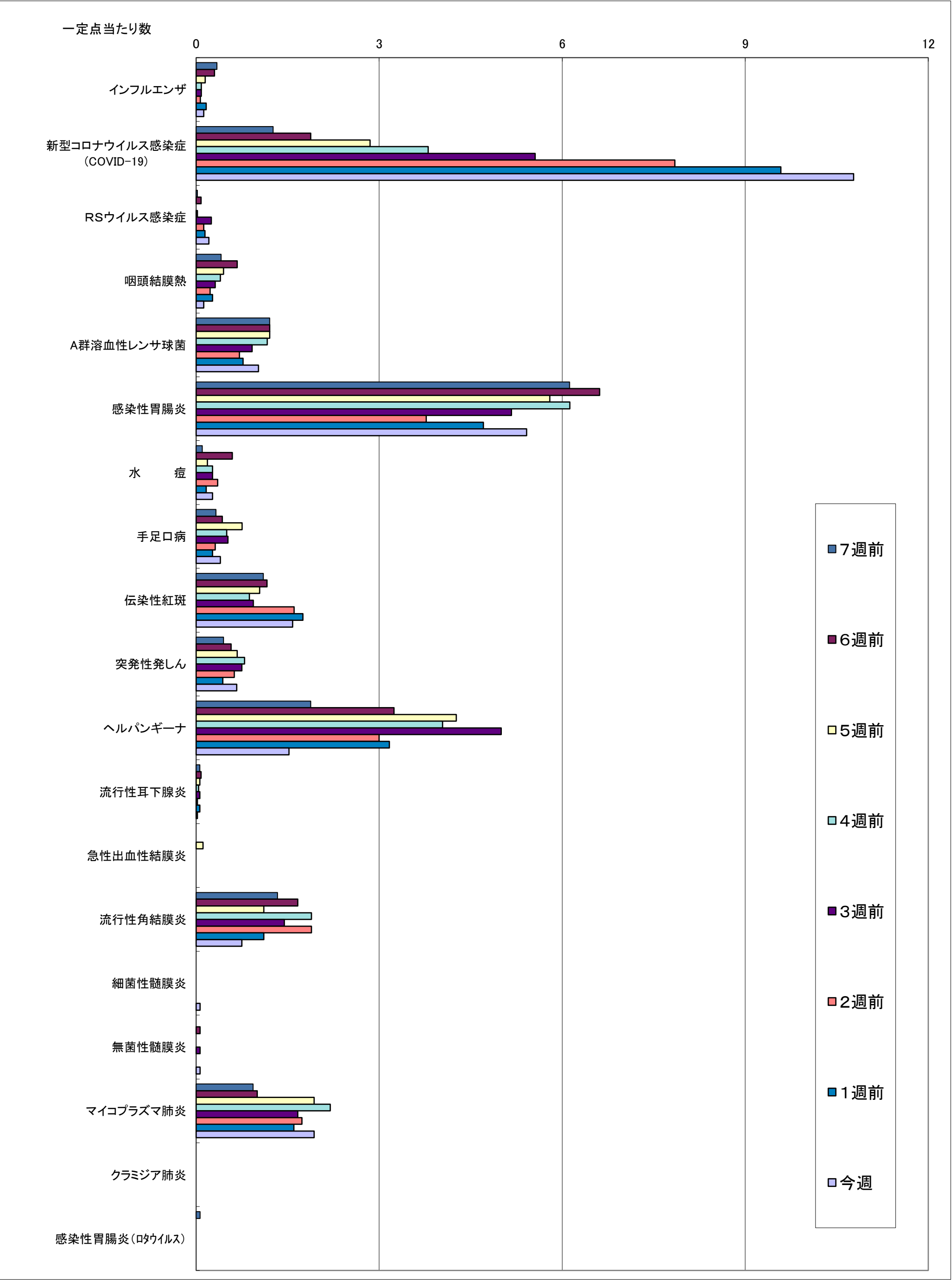
○感染性胃腸炎病原体検出状況 ※第1週(R6.12/30～)からの累計

ノロウイルス	サポウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (1件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)

(※カッコ内は昨シーズン累計)

【週報に関するお問い合わせ先】
健康危機管理課 感染症対策班 直通電話:096－333－2240 (内33154)

一定点当たり週別発生状況の推移



<令和7年第32週>
保健所別発生状況（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

令和7年8月14日

	保健所名	インフルエンザ	新型コロナ ウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	5	220	1,512	3	3	20	48	3	5	32	11	24	0	0	5	1	1	23	0	0
2	山鹿保健所	0	8	31	1	0	5	15	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3	菊池保健所	3	55	496	4	1	3	39	5	2	21	5	13	0	0	0	0	0	0	0	0
4	阿蘇保健所	0	39	56	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	御船保健所	1	35	232	0	0	1	8	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
6	八代保健所	0	63	333	0	0	4	17	1	2	3	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0
7	水俣保健所	0	20	83	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0
8	人吉保健所	0	82	292	1	0	0	10	2	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9	有明保健所	0	172	555	0	0	7	85	1	3	1	11	2	1	0	1	0	0	4	0	0
10	宇城保健所	0	58	156	1	0	5	32	0	0	15	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0
11	天草保健所	0	24	58	0	2	1	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9	776	3,804	10	6	49	260	13	19	76	32	73	1	0	6	1	1	29	0	0

保健所別 一定点当り患者報告数（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

	保健所名	インフルエンザ	新型コロナ ウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶連菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	0.21	9.17	63.00	0.20	0.20	1.33	3.20	0.20	0.33	2.13	0.73	1.60	0.00	0.00	1.25	0.20	0.20	4.60	0.00	0.00
2	山鹿保健所	0.00	4.00	15.50	0.50	0.00	2.50	7.50	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	－	－	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	菊池保健所	0.43	7.86	70.86	0.80	0.20	0.60	7.80	1.00	0.40	4.20	1.00	2.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	阿蘇保健所	0.00	13.00	18.67	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－	－	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	御船保健所	0.20	7.00	46.40	0.00	0.00	0.33	2.67	0.00	1.00	1.00	0.00	1.00	0.00	－	－	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	八代保健所	0.00	9.00	47.57	0.00	0.00	1.00	4.25	0.25	0.50	0.75	0.75	3.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	水俣保健所	0.00	10.00	41.50	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	－	－	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00
8	人吉保健所	0.00	16.40	58.40	0.33	0.00	0.00	3.33	0.67	1.33	0.00	0.00	0.33	0.00	－	－	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	有明保健所	0.00	24.57	79.29	0.00	0.00	1.40	17.00	0.20	0.60	0.20	2.20	0.40	0.20	0.00	1.00	0.00	0.00	4.00	0.00	0.00
10	宇城保健所	0.00	11.60	31.20	0.25	0.00	1.25	8.00	0.00	0.00	3.75	0.25	2.50	0.00	－	－	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	天草保健所	0.00	4.80	11.60	0.00	0.50	0.25	0.75	0.00	0.00	0.00	0.25	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平均	0.13	10.78	52.83	0.21	0.13	1.02	5.42	0.27	0.40	1.58	0.67	1.52	0.02	0.00	0.75	0.07	0.07	1.93	0.00	0.00

年齢別発生状況(急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点)

令和7年第32週

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80歳 以上
インフルエンザ	9	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	776	11	15	18	7	10	4	3	9	5	3	9	45	35	69	63	103	102	95	104	66

急性呼吸器感染症定点 年齢区分	合計	0歳	1～4 歳	5～9 歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
急性呼吸器感染症(ARI)	3,804	238	1,269	794	326	99	151	152	154	159	174	152	136

小児科定点年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20歳 以上
RSウイルス感染症	10	2	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	6	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶連菌咽頭炎	49	0	0	2	6	8	8	7	7	1	2	2	5	1	0
感染性胃腸炎	260	3	26	60	20	19	24	26	15	17	13	13	13	3	8
水痘	13	0	0	1	2	0	2	0	3	3	0	0	2	0	0
手足口病	19	0	0	5	4	6	1	2	0	0	1	0	0	0	0
伝染性紅斑	76	0	1	3	4	9	22	18	6	2	7	2	1	0	1
突発性発疹	32	1	5	19	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	73	0	6	23	21	5	7	5	2	1	0	0	3	0	0
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

眼科定点年齢区分	合計	0-5 ヵ月	6-11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	1

基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	29	0	4	13	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

浸水した家屋の感染症対策

- 感染症予防のためには、**清掃と乾燥**が最も重要です
清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません！！
- 屋外（床下や庭）の消毒は原則不要**です

消毒の手順

消毒の前に十分清掃しましょう！

- ①ほこりから目や口を保護するため、**ゴーグル・マスクを着用**
- ②清掃中のケガ予防に、**手袋・底の厚い靴などを着用**
- ③ドアと窓をあけて、**しっかり換気**
- ④汚泥は**十分に取り除き、しっかり乾燥**
清掃が不十分だと、消毒の効果を発揮できません！！

主な消毒液と使用方法

- ゴム手袋・長靴、ゴーグル等を着用して作業しましょう！**
- 次亜塩素酸ナトリウム**
汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合に使います
- アルコール、塩化ベンザルコニウム**
色あせ、腐食などにより次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合に使います

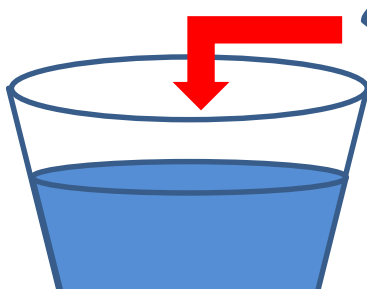
消毒薬	対象と使い方	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤でも可)	0.02%に希釈する ① 食器用洗剤と水で洗う。 ② 希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒薬を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする。 ③ よく乾燥させる。	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。 ③ 金属面や木面など色あせが気になる場所は、水で2度拭きする。
消毒用アルコール	希釈せず、原液のまま使用する ① 洗剤と水で洗う。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない	希釈せず、原液のまま使用する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② アルコールを含ませた布で拭く。 ※70%以上のアルコール濃度のものを使用すること ※火気のあるところでは使用しない
10%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。	0.1%に希釈する ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる。 ② 調整した液を浸した布などでよく拭く。

浸水した家屋の消毒手順

消毒液の希釈方法

- 薬液の濃度や用法など消毒薬は、薄めて（希釈して）使用するものがあります。使用上の注意事項を確認してから使用しましょう。

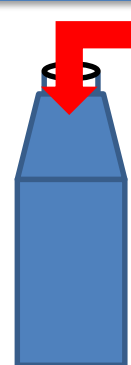
0.1%希釈の簡易的な方法



消毒液
コップ100cc

10%消毒液であれば…
コップ1杯 (100cc)を入れて、
水 (**10ℓ**) を入れる

バケツ (10ℓ) を使用する場合

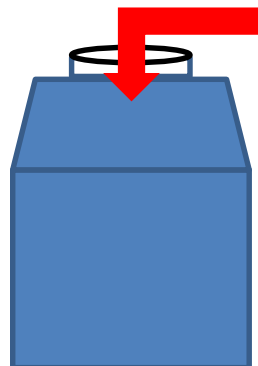


※キャップ1杯 (4～5cc)

10%消毒液であれば…
ペットボトルのキャップ**2杯**を入れて、
水 (**1ℓ**) を入れる

ペットボトル (1ℓ) を使用する場合

0.02%希釈の簡易的な方法



キャップ1杯 (4～5cc)

10%消毒液であれば…
ペットボトルのキャップ**1杯**を入れて、
水 (**2ℓ**) を入れる

ペットボトル (2ℓ) を使用する場合

清掃・消毒作業が終わったら

- 作業が終わったら**しっかり手洗い**
- ケガをした場合は**しっかり洗浄、消毒**
- 深い傷や汚れた傷**、目を洗浄しても充血する場合は**医師に相談**
- 消毒薬の使用後は、よく乾燥させてください

土ほこりに注意してください！

水害の被災地では、衛生状態が悪化し、感染症にかかりやすい状況にあります。土ほこりが舞う場所での「ゴーグル・マスク」の着用と作業後の手洗いの徹底をお願いします。

- 粉塵（土ほこり）の吸入等によりかかる可能性のある感染症

レジオネラ症

- ・レジオネラ菌は、河川・土壌などに広く存在するため、災害後のがれきの撤去作業等の際、粉塵（土ほこり）を吸入することで、感染する恐れがあります。
- ・特に、高齢者での発生が多く、重症化すると死亡する場合もありますので注意が必要です。

レプトスピラ症

- ・病原性レプトスピラを保有しているネズミ、イヌ、ウシ、ウマ、ブタなどの尿で汚染された下水や河川、泥などに触れることによって、また、それらに汚染された飲食物を摂取することで感染する恐れがあります。
- ・ペットなどに触れた後や排泄物を処理した後にも、手洗いまたは手指消毒を行ってください。

腸管出血性大腸菌

- ・大腸菌は、家畜やヒトの腸内にも存在し、そのうち毒素を産生し出血を伴う腸炎等を起こすものを腸管出血性大腸菌といいます。
- ・腸管出血性大腸菌は、ウシなどの家畜やヒトの糞便中に時々見つかるため、これらに汚染された疑いのある場所での作業は注意しましょう。

清掃作業をされる方へ

清掃作業時に 注意してください

①傷口からの感染



- 予防策**
- ・ 丈夫な手袋や底の厚い靴などを着用
 - ・ 長袖など肌の見えない服装を着用

ケガをした場合

傷口を流水で洗浄し、消毒しましょう。

特に深い傷や汚れた傷は破傷風※になる場合があるため、医師に相談をしましょう。

※ 破傷風は傷口に破傷風菌が入り込んでおこる感染症で、医療機関で適切な治療を行わないと死亡することもある病気です。

②土ほこりへの対応

土ほこりが目に入って結膜炎なったり、口から入ってのどや肺に炎症を起こすこともありますので、目や口を保護することが重要です。

- 予防策**
- ・ ゴーグル・マスクを着用
 - ・ 作業後には手洗い

目に異物が入った場合

目を洗浄しても、充血が起きている場合などは医師に相談をしましょう。



厚生労働省